

資料6 神奈川県自主防災組織・ボランティア団体に係る調査結果
(消防本部・消防署)

平成 27 年 10 月

「神奈川県に係る防災研究データベースの活用を起爆剤とした官学民連携
による地域防災活動活性化研究」 代表 荏本孝久 (神奈川大学教授)

<本調査の趣旨について>

本調査は、平成 25 年度から行っている文部科学省の地域防災支援プロジェクト助成研究の一環として、神奈川県下の地方自治体の防災・危機管理に係る調査研究や情報・人材等に対するニーズを把握する一方で、実際に活動支援を行っている人や団体を把握し、相互に情報提供することによって、防災活動の活性化を図ることを目的として実施するものです。

今年度は、自主防災組織とボランティア団体・民間団体等を中心にお尋ねします。

<本調査票への記入方法等について>

- ・ 選択肢がある場合は、該当する項目に○印をつけてください。
- ・ 具体的に記述を求めている質問では、具体的にご記入ください。
- ・ また、回答欄が不足する場合、枠の追加や別紙でのご回答などをお願いします。
- ・ 各問に具体的に記載していただく代わりに、既存の資料等を添付していただくことで回答していただくことでも構いません。
- ・ なお、回答欄には、具体的な回答だけでなく、関連するニーズ(要望)などが有りましたら、ご記入ください。
- ・ ご記入いただきました調査票は、返信用封筒で **11 月 13 日(金)まで**にご回答ください。
- ・ ご多忙の折、大変恐れ入りますが、ご回答くださいますようよろしくお願い致します。

<本調査の担当事務局>

(株)防災&情報研究所 (担当者) 高梨、深田、柴
住所：〒103-0005 東京都中央区日本橋久松町4-10 イマス日本橋福山ビル2階
Tel：03-3249-4120 FAX：03-3249-7296 e-mail：idpis2@idpis.co.jp

<本調査票にご記入くださった方の連絡先等>

機関名・部課			
住所	〒		
氏名		職名	
電話番号		ファクシミリ番号	
e-mailアドレス			

貴消防本部・消防署で行っている自主防災組織やボランティア団体等の民間団体への育成策、奨励策等についてお伺いします。

n=9

問1 貴団体では、自主防災組織や地域の防災対策を促進するため、どのようなことを行っていますか。市区町村とは別に、独自に行っているもので、当てはまるところに、いくつでも○印をつけてください。

- | | |
|--|---|
| 1. 自主防災組織結成の呼びかけを行っている | 1 |
| 2. 自主防災組織等向けのパンフレットや副読本を作成して提供している | 1 |
| 3. 地域の防災活動支援のため、貴職員が講師として出向いている | 3 |
| 4. 地域の防災活動支援のため、講師や専門家、アドバイザーなどを紹介している | 1 |
| 5. 地域の防災活動支援のため、講師や専門家などの派遣制度がある | 0 |
| 6. 自主防災活動等の支援のため、補助金や奨励金を出している | 2 |
| 7. 民間の防災活動を推進するため、モデル自主防災組織等を決めている | 0 |
| 8. 民間の防災組織等のメンバーが研修会・セミナー等に出席する際の補助等を出している | 0 |
| 9. 民間の防災組織等のメンバーが被災地や他の自主防災組織や防災センター等に視察や見学に行くための支援をしている | 0 |
| 10. 民間団体等の活動事例集を作成している | 0 |
| 11. 地域のハザードマップ(地震、津波、洪水、土砂災害等)を作成し、配布している | 1 |
| 12. 防災訓練や図上演習、DIG, HUGなどの指導・助言を行っている | 3 |
| 13. 市民救急救命士、防災士等の資格をとるための支援を行っている | 0 |
| 14. 防災イベントなどの協賛や支援を行っている | 0 |
| 15. 自治会・町内会等が地域の企業や事業所と防災協定を締結するための支援をしている | 1 |
| 16. 自主防災組織・民間団体等の表彰制度がある | 1 |
| 17. その他 () | 0 |
| 18. 各団体に活動をまかせており、特に支援はしていない | 5 |

問2 貴団体では、自主防災組織等が実施する防災訓練や机上訓練・図上演習については、どのような支援を行っていますか(いくつでも○)。

- | | |
|--|---|
| 1. 火災や避難訓練等の実施に当たって、指導や協力をしている | 6 |
| 2. 総合防災訓練や消火訓練等に参加してもらっている | 3 |
| 3. 机上訓練・図上演習や防災ゲームなどを紹介している
(名称 ;) | 2 |
| 4. 机上訓練・図上演習や防災ゲームなどの講師を派遣している | 0 |
| 5. その他の支援 () をしている | 1 |
| 6. まったく支援をしていない | 1 |

【その他】藤沢市消防局：自主防災組織等からの要請(消防訓練届など)があった場合には職員を派遣し防火・防災指導を行っている。

問3 貴団体では、**地区防災計画**を作成するための支援をしていますか（ひとつだけ○）。

（注）地区防災計画とは、「市町村内の一定の地区の居住者及び事業者（地区居住者等）が共同して行う当該地区における自発的な防災活動に関する計画」で、市町村地域防災計画の中に記載することができる。神奈川県下では、“よこすか海辺ニュータウン”が、内閣府の2014年モデル地区となった。

- | | |
|-------------------------------------|---|
| 1. 地区防災計画を作成するための支援を行っている
（具体的には | 0 |
| 2. 地区防災計画を作成するための支援は、今後行なう予定 | 0 |
| 3. 地区防災計画を作成するための支援はまったく行っていない | 9 |
| 4. その他（ | 0 |

問4 貴団体が行っている**自主防災組織の育成やボランティア団体等を含む地域の防災活動支援**の具体的な内容を、下の枠内に記入してください。枠は増やしていただいてもかまいません。なお、お答えいただく代わりに、資料を別添していただいてもかまいません。

横浜市消防局	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練会等に職員が講師として出向している。 ・研修会等の講師、専門家等を紹介している。 ・家庭防災員が地域で主体となって行う防災にかかる研修、訓練、調査活動などの個人またはグループの自主的な活動を支援している。（家庭防災員とは、自らの家庭を守るための知識や技術を身につけて頂くために、横浜市消防局が実施する、防火・救急・地震・風水害などの災害に備える研修を受講していただいた方です。）
横須賀市消防局	自主防災組織が実施する自主防災訓練に立会い、状況に応じ指導している。「自主防災訓練指導」
寒川町消防本部	各団体に対し普通救命講習や応急手当などの訓練。また消火器等を使用した初期消火訓練を実施。
湯河原町消防本部	町で行う防災訓練において自助・共助というところから、地区に設置されている防災倉庫内の機材の使用方を指導しています（照明器具、チェーンソー、小型可搬ポンプ等）

問5 貴団体の管轄地域の中で、平常時に**自主防災組織やボランティア、民間団体等**が**防災・防火・救急等**で連携して活動している事例がありましたら記載してください。

横浜市消防局	自治会、町内会などの自主防災組織等による防災訓練
横須賀市消防局	心肺停止に陥った人がいた場合に、迅速な救急要請や心肺蘇生法（AED）を実施する施設を構築している制度「よこすかAEDステーション」
三浦市消防署	水難事故等が発生した際、民間が所有する船舶を活用して災害活動を行うために協定を結んでいる。実際に発生した水難事故において救助し搬送した事例がある。
寒川町消防本部	高齢者で一人暮らしの住宅を中心に訪問し、住宅用火災警報器や消火器の設置についてや、火の取扱い等についての説明を実施。

問6 実際に起きた災害や事故時等に、貴団体の管轄地域の中の自主防災組織やボランティア、民間団体等が活動している事例がありましたら記載してください。

横浜市消防局	自治会、町内会などの方々が初期消火箱などの初期消火器具を活用し、火災時の初期消火を実施した事例が報告されている。
横須賀市消防局	①消火栓利用型市民消火隊：住民が協力して火災発生時に公設消火栓を使用した初期消火活動をする。 ②消防協力隊（通称ポニー、H10 発足）：大規模な災害が発生した際、事業所周辺（半径 1 km）において消防機関の要請に応じて消防活動を行う企業。 ③消防・防災協力隊（通称イーグルス、H12 発足）：大規模な災害が発生した際、事業所周辺（500m）において地域住民と協力し消防防災の支援活動を行う企業

問7 貴団体では、自主防災組織やボランティア、民間団体等の防災・減災等の活動推進にあたって、どのような情報や調査研究結果等がほしいですか。あてはまるものにくつでも○をつけてください。

- | | |
|--|---|
| 1. 災害や事故発生時の自主防災組織や民間団体等の初動対応事例 | 5 |
| 2. 災害や事故後の復旧・復興時の自主防災組織や民間団体等の対応事例 | 2 |
| 3. 自主防災組織や民間団体等の平常時における優良活動事例 | 1 |
| 4. 自主防災組織や民間団体等による減災・防災対策及び対策事例 | 4 |
| 5. 災害時のボランティアや民間団体等の活動実施事例 | 5 |
| 6. どのような対策が実際に災害や事故が発生した時に有効だったか(調査研究) | 5 |
| 7. 自主防災組織やボランティア等の減災・防災対策に対する行政や民間の支援策 | 2 |
| 8. 災害や事故発生後の自主防災組織やボランティア等に対する行政や民間の支援策 | 1 |
| 9. 災害や事故発生に対する対策効果に関する分析 | 2 |
| 10. 自主防災組織やボランティア団体等の減災・防災活動支援アドバイザー(人材)名簿 | 0 |
| 11. 地区防災計画の作成事例 | 0 |
| 12. その他（具体的に) | 0 |
| 無回答 | 1 |

問8 貴団体で、災害や大規模事故、原子力、国民保護、防災・減災等に関係する分野の講演やアドバイザー、委員、研修・教育の講師、自主防災組織やボランティア活動、民間団体等の活動支援等で、外部の人材（大学、地方自治体職員、民間団体・ボランティア、メディア関係者等）を依頼していますか。

これまでに依頼していた方、または、これから依頼しようとしている方があれば、具体的な内容、人名、所属（大学、地方自治体、民間団体・ボランティア、メディア関係者等）等をお答えください。枠を増やしたり、すでにある資料を付けていただいても構いません。

機関名	担当課	依頼した人・所属	具体的な内容	実施年度
寒川町消防本部	予防課	気象庁横浜地方気象台 小林 高枝	局地的大雨から身を守るために	H27

—以上で質問は終わりです。ご協力いただきまして、ありがとうございました。—